

かわにし市議会だより

2025年(令和7年)12月

ボ

イ

ス

# 川西VOICE

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

川西市議会ホームページ



No.251



◀「体育大会 『一致団結』」

撮影者：川西明峰高校 河村 成真さん

「体育大会『蒼熱 体育大会で燃える青春』」

▼撮影者：川西北陵高校 武富 悠夏さん



▲「校庭の冬紅葉」

撮影者：川西緑台高校 佐藤 凧さん

## 9月定例会+決算特集号

(10月臨時会)

- 常任委員会の審査報告
- 審議結果等一覧
- 決算委員会の審査報告
- 一般質問で17人が登壇し市政を問う
- 新たな市議会構成



市花りんどう



# 令和6年度 各会計決算など審議

令和7年第3回定例市議会は、9月1日から9月29日までの29日間の会期で開催されました。

今期定例会では、令和6年度一般会計および特別会計ならびに公営企業会計の決算認定案件をはじめ、住宅用太陽光発電設備等の導入に対する補助などを内容とする一般会計補正予算案や旧慣による公有財産の使用廃止などの議案を審議しました。

このうち、一般会計（8から9面参照）および特別会計（10面参照）の決算認定案件は、9月定例会閉会後にそれぞれの決算審査特別委員会において慎重に審議をした上で、10月27日に開催された第4回臨時市議会において認定しています。

令和6年度の一般会計決算は、歳入は対前年度比で3・5億円減の608・8億円に、歳出は対前年度比で5・7億円減の603・0億円となりました。また、実質収支は3・7億円で、実質単年度収支は地方交付税等の一般財源が増加したことを受け、財政基金の取り崩しを行わなかったことから0・6億円の黒字となっています。

主な内訳として、歳入では、市税において、賃上げ等による所得の増加などにより、個人市民税の税額は増加したものの、定額減税等の影響で決算額は減少したほか、本庁舎空調・照明設備更新事業の終了や市営住宅解体事業費の減少に伴い市債も減少しています。

歳出では、障がい福祉サービスの利用者の増や児童手当の対象年齢引き上げ等の制度改正により民生費が増加している一方で、国の経済対策として実施した消費者支援事業等が終了し商工費は減少しています。

このほか、同定例会では、公職選挙法施行令の改正に基づく政令の制定に伴い、「川西市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例」の一部改正案などが提出され、慎重に審議した上でいずれも原案のとおり可決しています。

また、一般質問を3日間にわたって行い、17人の議員が登壇し、市政全般にわたる活発な議論が繰り広げられました。（12から15面参照）

## 年賀状はお出しできません

議員が、市民の皆さまへ年賀状（答礼のための自筆のものを除く）を出すことは、公職選挙法で禁止されています。

公正な政治活動をするため、皆さまのご理解をお願いいたします。

## ●第4回臨時市議会

第4回臨時市議会が、10月23日から28日までの6日間の会期で開催されました。この臨時会では、第3回定例市議会に提出され継続審査となった令和6年度一般会計および特別会計決算認定案件の審議のほか、新北消防署整備工事請負契約の締結についての議案（5面下参照）や正副議長の選挙をはじめ、議会運営委員会委員や常任・特別委員会委員の選任など、議会の新たな構成（議会構成は16から19面参照）といった重要案件について審議されました。

## ・ 議会の活動状況 ・

8月		11月	
25日○議会運営委員会	12日○厚生文教常任委員会	2日○一般会計決算審査特別委員会	○議会運営委員会
	16日○建設常任委員会	3日○一般会計決算審査特別委員会	
9月		10月	
1日○第3回市議会定例会（招集日）	17日○公営企業会計決算審査特別委員会	6日○特別会計決算審査特別委員会	5日○広報委員会
○市立病院改革調査特別委員会	22日○議会運営委員会	10日○議会運営委員会	19日○議会運営委員会
○総務生活常任委員協議会	24日○第3回市議会定例会（第5日）	20日○議会運営委員会	○議員協議会
3日○総務生活常任委員会	26日○議員協議会	23日○第4回市議会臨時会（招集日）	26日○第5回市議会定例会（招集日）
8日○第3回市議会定例会（第2日）	29日○第3回市議会定例会（最終日）	24日○総務生活常任委員会	○厚生文教常任委員協議会
9日○第3回市議会定例会（第3日）	○議会運営委員会	27日○第4回市議会臨時会（第2日）	27日○総務生活常任委員会
10日○第3回市議会定例会（第4日）		○議会運営委員会	○議会運営委員会
11日○総務生活常任委員会	1日○一般会計決算審査特別委員会	○議員協議会	○広報委員会
		28日○第4回市議会臨時会（最終日）	



# 常任委員会報告

## 総務生活常任委員会

委員（委員長＝◎ 副委員長＝○）

◎田中 麻未 ○長田 拓也  
加藤 仁哉 山崎 孝弘  
福西 勝 秋田 修一  
坂口 美佳 吉岡 健次

### 令和7年度川西市一般会計補正予算

（第3回）

**質問** 新北消防署整備工事の入札が

2度にわたり入札不調となったことから、工事請負費を10億4885万円から2億円増額するとの説明があったが、当初予算の2割にも及ぶ大きな増額になっているものと認識している。そこで、予算編成時の積算方法について伺いたい。

**答弁**

当初予算の積算時点では、この事業は設計前の段階である

ため施設の図面が存在せず、詳細な工事内容や状況等を反映できないことから、国土交通省の基準や建物の用途・規模、近隣自治体の状況を考慮し、また、特殊な工事内容については事業者から見積もりを徴して積算している。

今回の増額補正では、令和8年4月からのコンクリートの大幅な価格改定をはじめ、資材単価や労務単価の高騰、および免震関連の工事、キュービクルなどの建物に合わせた特殊工事などの設計単価を再精査した。



新北消防署外観イメージ

川西市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び

選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び川西市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、公職選挙法施行令の一部を改正する政令の制定に伴い、条例の一部を改正するものである。

**質問** 今回の改正の効果として、選挙運動用ポスターおよび選挙運動用ビラに要する費用の上限額を合計すると、候補者1人当たり約1万8千円の増額になるとの認識で間違いがないか伺いたい。

**答弁** 委員の試算のとおりである。

**賛成意見** 選挙運動用ポスター等作成費の限度額の引き上げに際しては、ポスター掲示場の設置箇所を削減するなど、市の財政負担にも配慮する取り組みを求め、本案に賛成する。

令和7年度川西市一般会計補正予算（第4回）

**質問** 自家消費型住宅用太陽光発電設備等導入補助金において、2281万5千円追加していることについて、補助要件などの詳細を伺いたい。

**答弁** 今回の補助は新築、既存物件問わず、新たに太陽光パネル

および蓄電池を同時に購入することが補助要件であり、1件当たりの補助上限額は58万5千円で、申請された全件が補助上限額である場合は、39件分に相当する金額である。

**質問** 放課後キッズプレイス運営業務として、令和8年度を期間とする1億1088万円の債務負担行為が追加されているが、7年度と比べて大幅に増加する12小学校分の設置費用が計上されていることから、留守家庭児童育成クラブの整備方針について、キッズプレイスの位置付けを含めて確認したい。

**答弁** 留守家庭児童育成クラブについては、まず小学校1年生、2年生は待機児童の解消に向けて取り組みを進めたいと考えている。小学校3年生以上になると、夏休みのみといった必ずしも週5日必要とは限らない場合もあり、放課後の居場所づくりとして短期的には放課後キッズプレイスは大きな可能性があると考えている。今回の補正に伴い、今年度内に事業者の選定を行いたいと思っている。

**答弁** 留守家庭児童育成クラブの拡大に関しては、支援員や活動場所の確保の問題があることや、小学校3年生については、現在も待機児童が一定数いるため、保護者等の

意向を確認しながら、当面は放課後キッズプレイスを継続したいと考えている。

## 川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について（令和7年第2回（6月）上程分）

本案は、補助金の公平性、透明性を確保する観点から、市が公募する補助金および助成金の相手方の選定を行う「川西市補助金等交付審査委員会」を設置するため、条例の一部を改正するものである。

**質問** これまでに補助金を受けてきた既存団体等については、公益性等の要件を満たし文化やスポーツの促進に様々な形で貢献していることから、公募型補助金の審査に当たって、新規の団体等と既存団体等を同列に扱うことに違和感を覚えるが、市の考えを伺いたい。

**答弁** 補助金の公平性、透明性を確保する観点から、誰が見ても利害関係などの偏りのない第三者の正しい目が必要であると考えており、その中では新規や既存団体等を問わず、同じルールの中で公正に分け隔てなく審査をしていきたいと考えている。

## 付帯決議（全文）

令和8年度から公募型補助金制度

を導入するに際し、市長の付属機関として川西市補助金等交付審査委員会を設置するため、川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例が提出されている。

市は、この公募型補助金の目的として、社会的課題や身近な問題を解決しようとする公益的な団体を支援するとともに、このような活動をする団体に広く公平な補助金交付の機会を提供することで多様な事業が提案され、より活発な市民活動の展開が期待できると説明している。

これに対し、すでに補助金を受けて、長年にわたり公益的な活動を行ってきた団体が市内に多数存在しており、それらの活動は市民福祉の向上に大きく貢献してきたところである。また、今回の審査委員会設置にともなう外部審査の導入により、審査の透明性は高まるものの、これら公益的団体の従来の活動をはじめ地域事情や市民活動を十分に理解されないまま審査が行われることが懸念される。

しかし、市民活動の更なる活性化や補助金の透明化を否定するものではないことから、当委員会は、公募型補助金や本条例改正で設置されることとなる審査委員会について、次の事項を強く要望する。

1 公募型補助金制度の導入に際しては、従来から補助金制度を活用して市民福祉に貢献してきた団体の活動に敬意を払い、これらの団体の実績を十分に考慮すること。

2 川西市補助金等交付審査委員会委員については、単に補助金に関する学識を有するにとどまらず本市の事情に精通している者を選任するよう配慮すること。

## 厚生文教常任委員会

委員（委員長＝副委員長）

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎中井 成郷 | ○山内 裕介 |
| 岡田龍太郎  | 加茂 文字  |
| 平岡 譲   | 大矢根秀明  |
| 黒田 美智  | 岡 留美   |

## 令和7年度川西市介護保険事業特別会計補正予算（第1回）

**質問** 市内の各種介護事業所の施設数およびその増減について、市の把握状況および令和6年度中の増減傾向について伺いたい。

**答弁** 市内の各介護事業所の施設数指定更新申請などの各種届出により市で把握しているが、6年度中において、事業所の施設数に特段の増減があった事業種別はなかったものと認識している。

## 建設常任委員会

委員（委員長＝副委員長）

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎大崎 淳正 | ○角田 慎司 |
| 松隈 紀文  | 斯波 康晴  |
| 榮 奈津子  | 川北 将   |
| 西山 博大  | 北野 紀子  |

## 旧慣による公有財産の使用廃止について

本案は、旧来の慣行により使用している公有財産（中池・久代3丁目141番）について、ため池の用に供しないため、その用途を廃止しようとするものである。





**質問** この公有財産がため池の用に供しなくなった経緯や、管理団体および構成人数の詳細について伺いたい。

**答弁** ため池の管理団体は久代生産組合であり、20年以上ため池としての貯水および利水の機能が利用されていないため、令和6年6月6日付で権利放棄の申出があったものである。

また、権利放棄時点の構成員数は41名、現時点の構成員数は39名となっている。

**質問** このため池が位置する南部地域においては、土地利用について、民間事業者へのサウンディング調査や住民とのワークショップ等を通じて意見収集を行ったものと理解しているが、今後これらの意見をどのように集約し、跡地活用につなげていくのか伺いたい。

また、旧慣による使用の廃止後は、土地を売却するのか、賃貸するのか、市の方針を伺いたい。

**答弁** 使用廃止の議決後は、久代生産組合との協議を進めつつ、売却する方向で検討している。

売却に当たっては、住民意見やサウンディング調査で集約された意見および周辺環境との調和も踏まえ、一定の条件設定が必要と考えている。

旧慣による公有財産の使用廃止について

本家は、旧来の慣行により使用している公有財産（下池・久代3丁目136番・139番）について、ため池の用に供しないため、その用途を廃止しようとするものである。



久代中池周辺

**質問** このため池は、決壊すると周辺家屋への被害が想定される

として兵庫県の防災重点農業用ため池に指定されており、ため池としての使用廃止後は決壊による人的被害の恐れはなくなると想定される。

しかし、市内のため池総数の減少

や、近年の線状降水帯による豪雨の増加を踏まえると、ため池の機能を廃止するのではなく、むしろため池を保全活用し、災害の被害抑制につながる考えもあると思われるが、市の考えを確認したい。

**答弁** 規模が1万平米以上となる開発行為によって浸水被害の可

能性が高まる場合は、兵庫県総合治水条例に基づき、雨水を一時的に貯留するための調整池を設置する義務が生じる。今回廃止しようとする下池の総面積は1万平米以上であることから、下池全体を開発する際には、防災対応を考慮した調整池を一定の基準で設置する必要がある。

## 10月臨時市議会

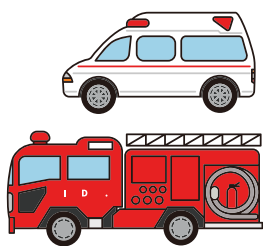
### 「新北消防署整備工事請負契約の締結について」を審議

10月23日に招集された第4回臨時市議会では、新北消防署の令和9年4月の供用開始に向けて、早期に建設工事を進めていく必要があることから、この施設の整備工事に係る契約議案が上程されました。提出議案については、24日に開催された総務生活常任委員会において審査を行いました。

委員会においては、2度の入札不調の後、補正予算による増額（3面掲載の「令和7

年度川西市一般会計補正予算（第3回）参照）を経て契約の相手方を決定した経緯を踏まえ、この入札の実施状況や契約金額の妥当性、基本設計時との相違点、着工時期、落札業者に関することなど、活発な質疑が交わされた後、全委員の賛成をもって、原案のとおり可決しております。

その後、27日の本会議において、原案どおり可決となりました。



# 審議結果等一覧

## 第3回川西市議会（9月定例会）

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
報告第11号	令和6年度中に権利放棄した債権の報告について	住宅使用料（家賃）、公営住宅管理費（共益費）、児童扶養手当返還金、上水道料金 ほか	報 告	—
報告第12号	令和6年度川西市水道事業会計予算継続費精算報告について	工事費・工事請負費（水道基幹施設再構築耐震化事業（けやき坂1丁目外地内））	//	—
同意案第5号	教育委員会委員の選任について	教育委員会委員の任期満了に伴い、澤野幸司氏を選任する	同 意 (全員賛成)	—
認定第1号	令和6年度川西市水道事業会計利益の処分及び決算認定について	令和6年度川西市水道事業会計利益の処分を可決し、決算を認定する	原 案 可 決 及 び 認 定 (全員賛成)	公営企業 会 計 決算特委
認定第2号	令和6年度川西市下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	令和6年度川西市下水道事業会計利益の処分を可決し、決算を認定する	//	//
認定第3号	令和6年度川西市病院事業会計決算認定について	令和6年度川西市病院事業会計決算を認定する	認 定 (全員賛成)	//
議案第41号	川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	川西市補助金等交付審査委員会を設置するため、条例の一部を改正する	原 案 可 決 (全員賛成)	総務生活
議案第49号	令和7年度川西市一般会計補正予算(第3回)	新北消防署整備事業の事業費増額に対応するため、補正が必要となる費用を追加する	//	//
議案第50号	旧慣による公有財産の使用廃止について	ため池の用に供しないため、旧慣使用を廃止する	//	建 設
議案第51号	旧慣による公有財産の使用廃止について	ため池の用に供しないため、旧慣使用を廃止する	//	//
議案第52号	川西市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び川西市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	選挙運動用ポスターの作成および選挙運動用ビラの作成の公営に係る作成単価の限度額を見直す	//	総務生活
議案第53号	令和7年度川西市一般会計補正予算(第4回)	国・県の動向に対応するもの、事業の完了に伴う精算等に対応するもの、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正	//	総務生活 厚生文教
議案第54号	令和7年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	令和6年度の国庫補助金、支払基金交付金、県補助金の精算に対応するもの	//	厚生文教
報告第13号	令和6年度川西市一般会計予算継続費精算報告について	文化財事業（郷土館旧平安邸耐震補強改修等工事）	報 告	—
認定第4号	令和6年度川西市一般会計決算認定について	令和6年度川西市一般会計決算を閉会中の継続審査とする	継 続 審 査 (全員賛成)	—
認定第5号	令和6年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	令和6年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	—
認定第6号	令和6年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	令和6年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	—
認定第7号	令和6年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	令和6年度川西市介護保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	—
認定第8号	令和6年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	令和6年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	—

## 第4回川西市議会（10月臨時会）

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
議案第55号	新北消防署整備工事請負契約の締結について	新北消防署整備工事を実施するため、工事請負契約を締結する	原 案 可 決 (全員賛成)	総務生活
認定第4号	令和6年度川西市一般会計決算認定について	令和6年度川西市一般会計決算を認定する	認 定 (賛成多数)	一般会計 決算特委
認定第5号	令和6年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	令和6年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を認定する	認 定 (全員賛成)	特別会計 決算特委
認定第6号	令和6年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	令和6年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を認定する	認 定 (賛成多数)	//
認定第7号	令和6年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	令和6年度川西市介護保険事業特別会計決算を認定する	//	//
認定第8号	令和6年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	令和6年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を認定する	認 定 (全員賛成)	//
選挙第1号	議長の選挙について	議長の辞職に伴い、新しい議長を選出する	選 挙 (投 票)	—
選挙第2号	副議長の選挙について	副議長の辞職に伴い、新しい副議長を選出する	//	—
同意案第6号	監査委員の選任について	監査委員の辞職に伴い、新しい監査委員を選出する	同 意 (全員賛成)	—
選任報告第1号	議会運営委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい議会運営委員会委員を選任する	報 告	—
選任報告第2号	常任委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい常任委員会委員を選任する	//	—
選任報告第3号	特別委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい特別委員会委員を選任する	//	—
選挙第3号	猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員の選挙について	組合議会議員の欠員に伴い、新しい猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員を選出する	選 挙 (指名推薦)	—

## 賛否の状況

※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：×

会派名		公明党					川西まほろば会					連合かわにし 市民の会				日本維新の会 川西市議団				日本共産党 議員団			市民 ファースト かわにし		無 所 属
議案名	議員名	大 矢 根 秀 明	山 崎 孝 弘	榮 奈 津 子	大 崎 淳 正	平 岡 謙	秋 田 修 一	松 隈 紀 文	岡 田 龍 太 郎	加 藤 仁 哉	西 山 博 大	中 井 成 郷	福 西 勝	川 北 将	岡 留 美	田 中 麻 未	内 山 裕 介	角 田 慎 司	坂 口 美 佳	黒 田 美 智	吉 岡 健 次	北 野 紀 子	斯 波 康 晴	加 茂 文 子	長 田 拓 也
	議案名																								
第4回 臨時会	認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
	認定第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	認定第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○

※地方自治法の規定により、岡留美議長は議員として議決に加わる権利を有していません。（ただし、可否同数のときは議長の決するところによる）



# 決算委員会報告

## 一般会計 〔歳入〕

**質問** 8億9097万4千円を収入している償却資産に係る固定資産税について、事業者が所有する償却資産の調査を順次行っていると承知しているが、令和6年度における実績について伺いたい。

**答弁** 償却資産の調査については、実地調査および文書照会を合わせて512件実施している。償却資産は、申告課税であることから、申告の必要性などを広く周知することが重要であり、申告漏れを防止する観点から、今後も取り組みを充実させたいと考えている。

### ◆一般会計決算審査特別委員会

◎福西 勝 ○北野 紀子  
松隈 紀文 加藤 仁哉 加茂 文子  
山崎 孝弘 大崎 淳正 内山 裕介  
西山 博太 中井 成郷 田中 麻未  
吉岡 健次

### ◆特別会計及び公営企業会計決算審査特別委員会

◎斯波 康晴 ○長田 拓也  
岡田龍太郎 榮 奈津子 平岡 譲  
大矢根秀明 黒田 美智 角田 横司  
川北 将 秋田 修一 岡 留美  
坂口 美佳  
(委員長◎ 副委員長◎)

**質問** キセラ川西プラザおよび市民温水プール駐車場の使用料として計2612万7440円を収入している点について、前年度より約800万円増加となっている要因について伺いたい。



市民温水プール駐車場

**答弁** 令和6年7月1日付で駐車場料金を改定したことにより、収入が増加したのと考えている。

なお、改定後においても施設利用者に対する駐車場料金の減免措置は継続しているため、利用者から負担が増えたとの声は特に聞いていない。

**質問** 1億4024万4557円を収入しているふるさとづくり寄附金について、全国的には令和6年度のふるさと納税受入額が過去最大となっている状況下において、本市では大幅に受入額が減少しているが、この減収が市財政に及ぼす影響について見解を伺いたい。

**答弁** 本市の市民が他自治体に対してふるさと納税を行ったことにより発生した本市の減収に対しては、その75%が交付税措置として補填されるものの、残る25%は減収となることから、今後は、市外の方からふるさと寄附金をより多く受け入れられるような取り組みを展開し、歳入の確保に努めていきたい。

## 一般会計 〔歳出〕

**質問** 参画と協働のまちづくり推進事業において、地域づくり支援補助金として520万8千円を支

出している点について、令和4年度までは自治会報奨金として交付されていたものが、5年度より自治会が実際に支出した経費に対して補助金を交付する制度に変更されたものと認識しているが、この補助金の申請状況および補助上限額に達する申請の有無について伺いたい。

**答弁** 6年度については、全131自治会のうち105自治会から申請があり、申請がなかった自治会に対しては催促を行い、その結果、19件の自治会については交付対象となる活動を行わなかったため不要とされ、それ以外の自治会は回答がなかったところである。また、申請のあった自治会については、おおむね上限額まで申請されており、上限額に達していない自治会については、追加申請が可能である旨をお知らせしている。

**質問** 20億9783万3274円を支出している物価高騰重点支援給付金支給事業および3944万4611円を支出している物価高騰対策ギフト券配付事業について、支給対象別の人数および給付率の詳細を伺いたい。

**答弁** 物価高騰重点支援給付金支給事業では、令和6年度に新たに非課税等になった対象世帯が



3027世帯で支給率は80・7%であり、18歳以下の子がいる世帯への子ども加算給付については、対象人数が568人で支給率は88・0%である。また、5年度の定額減税で控除しきれなかった分に対する補足給付は、対象者が2万6608人で支給率は98・6%となっている。

一方、物価高騰対策ギフト券配付事業については、18歳以下の子どもがいる世帯について、対象者数が2万3484人で給付率は99・6%であった。また、65歳以上の高齢者については、対象者数は4万8484人で、給付率は98・8%であり、全体で約99%の方に給付している。

**質問** 母子保健推進事業において、産後ケア事業で業務委託料1704万2千円を支出しているが、その詳細について伺いたい。

**答弁** この事業では、市内事業者に対し、宿泊型については1泊2日の利用で5万4千円、日帰り型については1日当たり1万8千円、訪問型については1回当たり9千円の単価で業務委託料を支出しており、産後ケアを利用できる施設は、令和6年度は市内に4カ所、市外に3カ所となっている。

**質問** 商工振興事業における女性起業サポート事業について、川

西女性起業塾のセミナー等の受講者による起業件数は令和6年度で2件にとどまっており、単年度では減少傾向となっているが、市の認識を伺いたい。

**答弁** 川西女性起業塾は、令和6年度も定員を満たすほどの参加者を集めているが、これまでの受講者が起業するまでには2年程度を要しており、受講者がセミナー等を受講した年に起業する状況ではない。そのため、単年度で起業件数が減少しているとの認識はなく、数年間の経過を踏まえた起業件数の累計により評価したいと考えている。

**質問** 放置自転車対策事業において、保管センターの管理運営や無料駐輪場の整理等に係る業務委託料として2292万5917円を、JR川西池田駅前などの自転車等駐輪場用地の借上げに係る土地借上料として1166万4148円を支出している点について、令和6年度から開始された用地貸付手法による同一事業者の市内駐輪場の一体管理が開始から1年が経過するに当たり、市が把握している利用者の意見および今後の方針を伺いたい。

**答弁** 事業開始当初は、定期利用でほぼ満車となっている駐輪場もあったため、これまで一時利用を

していた方から苦情が多少寄せられたものの、1年が経過した現在では状況が徐々に落ち着き、大きな苦情は寄せられていない状況である。今後利用者の様々な意見を踏まえ、利用者の需要に応じた柔軟な利用形態の配分を行えるよう対応したい。



川西池田駅南第2自転車駐車場（栄根）

**質問** 小学校運営事業において、水泳授業業務委託料として336万7375円を支出している点に関して、清和台小学校および清和台南小学校をモデル校として民間プール施設を活用し、水泳指導を事業者に委託しているが、この事業の総括および対象校拡大の展望を伺いたい。

している点に関して、清和台小学校および清和台南小学校をモデル校として民間プール施設を活用し、水泳指導を事業者に委託しているが、この事業の総括および対象校拡大の展望を伺いたい。

**答弁** この事業については、児童、教職員、保護者から高い評価を得ており、プロのインストラクターによる専門的指導を通じて泳力の向上につながったと考えている。

一方で、令和6年度は6月および7月に実施しており、学校から施設への移動が徒歩で行われたため暑さ対策が課題となった。そこで、7年度は実施時期を5月に変更するとともに、対象校も施設への徒歩移動が可能な川西小学校および桜が丘小学校を加えている。なお、暑い時期のプール授業をどうするかという課題もあるが、引き続きスピード感をもって拡大に向け調整していきたい。

**反対意見** 前年度から続く物価高騰の中、校内サポートルーム支援員拡充や中学校の放課後支援といった施策は評価するが、学校給食費引き上げや自転車駐輪場有料化などは市民への説明から合意までの経緯が不十分であり、市民の声が十分反映されていないことから本決算は認定できない。

**賛成意見** 令和6年度は、3年ぶりの実質単年度黒字となり、全体として評価している。今後も財源の確保に向けた積極的な取り組みを進めることを期待して、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】

# 特別会計

## 国民健康保険事業

**質問** 保健事業において、ジェネリック医薬品差額の通知などによる普及啓発に係る費用として88万3千円を支出している点について、令和6年度のジェネリック医薬品利用率は、数量シェアで82・3%、金額シェアで66・3%となっており、いずれも5年度と比較して大幅に上昇しているが、その要因を伺いたい。

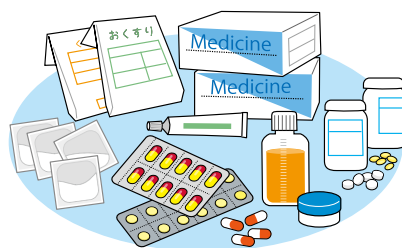
**答弁** ジェネリック医薬品の利用増加は、6年10月から導入された後発医薬品のある先発医薬品の選定療養の仕組みが主な要因であると考えているが、医療費の適正化に向け、ジェネリック医薬品差額の通知も引き続き行っている状況である。

**賛成意見** 令和9年度からの県内保険税率の統一に向け、県の国保運営方針に基づき進められている点は理解するものの、各市町ごとに医療費水準や人口構成などの特性があるこ

とから、本市の実情に応じた柔軟な制度運営が必要である。

現在は、基金の活用により保険税率を据え置いているが、税率統一後に税額が上昇する可能性を踏まえ、市民に丁寧な周知することを期待し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】



## 後期高齢者医療事業

**質問** 令和6年度の保険料について、滞納による差し押さえを行っているが、国民健康保険と同様、後期高齢者医療は日常生活に直接関わることから、差し押さえに係る要件や市の方針を伺いたい。

**答弁** 後期高齢者医療においても、給与・年金の差押禁止額は国民健康保険と同様であり、法令に規定されている差押禁止額を含む一定

割合を除いた金額を対象としており、滞納者の個別の状況を確認した上で差し押さえを行っている。

**反対意見** 6年度の制度改正による賦課限度額の引き上げにより、負担の増加を抑制するための激変緩和措置が講じられているが、高齢者の負担が大きいことをはじめ、人間ドック助成額的大幅な減額や出産育児支援金の導入による負担増などにより、75歳を契機に新たな制度に加入される方や障がいを持つ方の生活を大きく脅かすことになりかねないことから、本決算については認定できない。

【委員会の審査結果…認定】

## 介護保険事業

**質問** 市内の居宅介護支援事業所等に勤務する介護支援専門員等の資格更新に要する費用を助成する介護支援専門員等研修受講費助成金に関して、令和6年度の申請件数は14件となっているが、この事業の成果について伺いたい。

**答弁** 現在のところ、助成後の追跡調査は実施していないが、研修受講直後における異動や離職はないものと考えている。なお、この事業は令和5年10月から開始したものであるため、今後、長期的に状況を

注視していきたい。

**反対意見** 介護保険料が改定されたことにより、市民の負担が増加したことに加え、訪問介護の基本報酬が引き下げられていることから認定できない。

**賛成意見** 介護保険制度が抱える課題の抜本的な解決に向けて、海外の先進事例も研究しながら取り組むよう国へ意見することを求め、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】

## 用地先行取得事業

**質問** 用地先行取得費における公共施設用地先行取得事業について、土地購入費として1億193万5500円を支出しているが、その詳細について伺いたい。

**答弁** 令和6年度に取得した土地は、（仮称）赤坂池公園整備事業用地としての矢間2丁目378と錦松台293の2件である。

**賛成意見** 土地の価格が日々変動する中で、一般会計や土地開発公社との関係性のバランスを取りながら、事業の健全化を図るよう取り組みを進めることを期待し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】



# 公営企業会計

## 水道事業

**質問** 基幹管路耐震化延長率について、令和14年度の目標値を

44・2%と設定しているが、6年度で19・9%にとどまっている。近年における進捗は年間数ポイント程度にとどまっており、目標値と大きな乖離があると思うが、今後の見通しについて伺いたい。

**答弁** 基幹管路の耐震化については、地震等の被災時において影響が大きい箇所から整備を行っており、これらの設備の耐震化が完了次第、配水本管などの耐震化に取り組みたいと考えている。

**賛成意見** 命に関わる水道について、消費税を市民に転嫁せず、国の責任においてしっかりと財源確保していくことを国へ要望することを求めるとともに、猪名川町との広域連携に関して、令和6年度は設計のみの段階であったが、7年度から発注に向けての取り組みが進められてお

り、管路を持続可能なものにしていくことを要望し、本決算を認定する。  
【委員会の審査結果…原案可決及び認定】

## 下水道事業

**質問** 近年の気候変動による集中豪雨に伴う浸水対策について、令和6年度における主な取り組みを伺いたい。

**答弁** 6年度における特徴的な取り組みとして、鼓ヶ滝1号雨水幹線外2路線監視設備設置工事をはじめとして、鼓が滝および東多田地区の溢水しやすい水路に対し水位計と自動発報装置を設置し、委託業者との連携を通じて雨天時の事前対応を強化したところである。

**質問** 浸水危険区域について、令和6年度に対応を行った地区以外の排水路において、草木の繁茂や汚泥の詰まりなどの危険箇所の有無および該当地域への対策拡充の方向性について伺いたい。

**答弁** 排水路における浸水対策について、土砂の堆積や草木の繁茂が認められる区域については、基本的に住民からの要望を受けて浚渫工事や樹木の伐採などを行っている。今後は、例年の傾向を踏まえ、定

期的な点検や修繕が必要と見込まれる箇所については、計画的な整備を進めていきたいと考えている。

**賛成意見** 下水道の目的である安全安心かつ快適な暮らしの実現および運営基盤の強化という点を大前提に、各地域での大型開発や旧来の治水機能の減少などへの対策も踏まえた市としての新たな取り組みを幅広く求め、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…原案可決及び認定】



水位計（東多田）

## 病院事業

**質問** 総合医療センター開院当初に、5年間は毎年1億円を上

限として企業債を借り入れて、医療機器の更新を行う方針であると聞いている。令和6年度は超音波画像診断装置や生体情報モニタリングシステムをはじめとした医療機器を9964万9999円で購入していることから、医療機器の更新が当初の計画どおりに進んでいるのか確認したい。

**答弁** 令和6年度に購入した医療機器については、センター開院後初めて購入したものであり、購入に際しては、前年度にセンターから購入希望を提出してもらった後、市が精査した上で購入に至ったものである。10年度までは、同様の方法により希望を聞き取りながら購入していききたい。

**賛成意見** 市立総合医療センターが公立病院としての役割を果たそうとされ、高い病床稼働率を維持しようとする中で、患者からのさまざまな要望はもとより、夜間の看護師の配置など、運営上大変な苦勞をしていることが推察される。

今後も、医師や看護師等の職員確保や旧市立川西病院跡地に関する取り組みなどについて、より積極的に情報発信されることを要望し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】

# 質 問 一 般

※見出しの下のQRコードを携帯電話等で読み込むと、各議員の発言の様子をご視聴いただけます。

## 福祉

### 民生委員・児童委員の負担軽減を

日本共産党議員団 北野 紀子



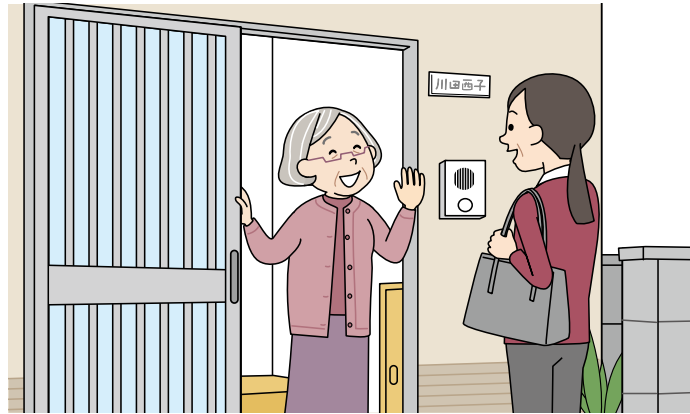
#### 質問

民生委員・児童委員は、地域の支え合いの担い手として、その重要性が年々高まる一方、職務負担の増加により、担い手不足が顕著になっている。そこで、職務の一つである証明事務に関して、本市の依頼状況およびこれらの事務を今後見直していく考えについて伺いたい。

#### 答弁

令和5年度の本市における証明事務件数は、児童扶養手当関連の証明など、合計で166件と

なっている。本年4月には、国から民生委員・児童委員の負担軽減に向けた事務の見直しに関する通知が発出されており、関係部署で共有している状況である。今後は、他の資料で確認可能な証明は廃止するなど、庁内で協議を行い、精査を進めていきたいと考えている。



## 国保

### 外国人世帯における収納率低迷の要因は

無所属 長田 拓也



#### 質問

国の調査では、国民健康保険税の納付状況について、日本

人世帯に比べて外国人世帯の収納率が低いとの結果がある。今後、本市においても原因を調査して対策を講じる必要があると考えることから、本市の納付状況および収納率が低くなっている理由について伺いたい。

#### 答弁

本市の令和6年度の現年収納率は、日本人世帯が約95%、外国人世帯が約85%となっている。これは、日本の国民皆保険制度について、理解が得られるよう説明を尽くしてはいるものの、母国の制度と異なるため制度の理解が得られず、納付に至らないという事情もあると考えている。

#### その他の質問項目

○本市公園の整備状況について

ほか

## 保健

### 5歳児健康診査の早期導入を

公明党 榮 奈津子



#### 質問

国では、心身の発達状況の評価や早期支援、育児上の問題となる事項の専門相談等を含む「5歳児健康診査」の早期全国展開を進めている。一方で、本市では、類似する内容で「5歳児発達相談事業」を既に実施していると認識しているが、現行事業との関係を踏まえ、国

が進める「5歳児健康診査」の導入について、市の見解を伺いたい。

#### 答弁

国が進めている「5歳児健康診査」は、現在本市が実施している事業に加え、身体計測や身体面の健康診査を全ての対象者に実施する内容であることから、医師や発達相談員の確保などの体制整備や関係機関との連携などが課題と考えており、現在、関係部署や関係機関と情報共有を行っている段階である。

## 交通安全

### 事故多発交差点における歩行者の安全確保を

連合かわにし市民の会 川北 将



#### 質問

小花1丁目交差点が、令和5年中の県内交通事故多発交差点で事故が最多となっていることに鑑み、交差点における歩行者の安全を最優先とした安全確保の取り組みについて、市の考えを伺いたい。

#### 答弁

令和6年度から県と警察および市により交通安全対策連絡会議を設置し、事故多発交差点に係る対策を協議している。小花1丁目交差点は過去3年間で人身事故が最も多いことから、最重要対策交差点と位置付け、歩車分離式信号の設置を含めたさまざまな対策を協議しているところであり、今後も県や警



察と連携して対策を進めていきたい。  
その他の質問項目

○空き家等の解体費用に関する助成・支援について

## 子ども・子育て

### 留守家庭児童育成クラブ お盆休み期間も開所を



市民ファーストかわにし 加茂 文子

#### 質問

近隣市では留守家庭児童育成クラブの休所日を年末年始のみとする傾向にあるが、働く保護者の子育て支援となるように本市においてもお盆休み期間の休所を見直し、年末年始のみを休所日とすることについて、市の考えを伺いたい。



#### 答弁

本市では、令和5年度にクラブの開所日を入学期や卒業期の日などに拡充した経緯があり、その際にお盆休み期間の開所についても検討したが、人材確保が困難であるため、現在は休所日としている。

今後は、運営体制や利用者ニーズ等を踏まえて、利用料の在り方も含め、慎重に検討を進めていく考えである。

#### その他の質問項目

○本市の子どもたちの読書環境を整えることについて

## 福祉

### 個人の状況に応じた障がい 福祉サービスの提供を



日本維新の会川西市議員 角田 慎司

#### 質問

本市が定める障がい福祉サービスの標準支給量について、介護事業者から最重度の提供量が十分ではなく制度が画一的で柔軟性に欠けるとの指摘があることから、例外規定を適用するなどのより柔軟な運用について、市の考えを伺いたい。

#### 答弁

標準供給量の最重度区分は月400時間としているが、この区分を超えるサービスが必要と考えられる場合は、障害支援区分認定審査会に意見を求め、必要な供給量

を審査し、月800時間の支給を決定している場合もある。

今後も標準支給量の適用については、これまでの市のサービス利用状況や他市の状況も踏まえ、定期的に見直しを進めていく。

## 子ども・子育て

### 放課後キッズプレイス 今後の方向性は



日本共産党議員団 吉岡 健次

#### 質問

本市においては、留守家庭児童育成クラブのニーズが高まり待機児童が増加する中で、放課後児童居場所づくり事業として、7月から放課後キッズプレイスの試行実施が開始されたが、運営面や市の責任などに関して懸念があることから、事業の今後の方向性について伺いたい。

#### 答弁

放課後キッズプレイスは、留守家庭児童育成クラブの定員拡大が整備できるまでの補完的な措置として位置付けている。

今後も引き続き留守家庭児童育成クラブの定員拡大を実現するため、運営に必要な人材や実施場所の確保に向けた取り組みを進めていきたい。

#### その他の質問項目

○公有財産、公有地の貸付使用制限と活用の方について

## 環境保全

### 建設汚泥中間処理施設の 設置に伴う市の対応は



市民ファーストかわにし 斯波 康晴

#### 質問

多田地区内における建設汚泥中間処理施設の設置に伴い、周辺の住環境への影響をはじめ、大型車の通行量の増加による通学路の安全確保や交通への影響に関して、市民から不安の声が上がっているが、こうした不安を軽減するため、市の対応方針について伺いたい。

#### 答弁

産業廃棄物処理施設の設置に関しては、県が許可権者であり、市には許認可権がないため、直接規制することは困難であるが、地域と事業者が良好な関係を築き、協議を継続することが重要であると認識している。

#### 答弁

今後、さまざまな課題が生じた場合には、ケース・バイ・ケースにはなるが、地域に寄り添った対応はしていきたい。

## 教育

### 不登校児童・生徒の学び にメタバースの活用を



公明党 山崎 孝弘

#### 質問

不登校児童・生徒の学びの選択肢の一つとして、仮想空間

メタバースの活用が考えられる。こうした空間を利用し、他市町と連携して児童・生徒同士が交流し、数カ月かけて関係を深めることで、最終的に登校につながるような取り組みについて、市の考えを伺いたい。

**答弁** メタバースの活用は、不登校児童・生徒の心理的負担軽減や学びの機会の確保など、一定の有効性を認識している。

しかしながら、予算や運営面に課題があるため、阪神7市1町による共同運営体制や連携の在り方など、今後、調査研究を進めていきたいと考えている。

### その他の質問項目

○本市における男性の産後うつへの取り組みについて ほか

## 教育

### 自然学校の行程を短縮する考えは



連合かわにし市民の会 中井 成郷

### 質問

兵庫県では、県内の小学校5年生を対象に、4泊5日の自然学校を実施しているが、日程が長期にわたるため、教員や保護者への負担が課題であると認識している。

そこで、実施日数を短縮し、持続可能な制度への転換が必要であると考えるが、市の見解を伺いたい。

### 答弁

自然学校は県の事業であり、原則4泊5日での実施となっているため、総合的な検討を行い、必要に応じて県に要望していきたい。

### 答弁

市としては、各校の状況に応じた日数の選択制度を県に提案しており、今後も近隣市町と協議を重ねながら取り組んでいきたい。

### その他の質問項目

○中学校給食における「パンの導入」について

## 環境事業

### リチウムイオン蓄電池等 市で分別収集を



川西まほろば会 岡田龍太郎

### 質問

近年、リチウムイオン電池内蔵製品が一般ごみに混入し、焼却施設や中継ピットで火災を引き起こす事例が全国的に多発しており、本市においても令和6年1月に国崎クリーンセンターで火災が発生している。そこで、安全確保および市民サービス向上のため、市で分別収集する考えはないか。

### 答弁

現在、本市においてこれらの製品は回収していない。今後は、国の方針に基づき、市民が利用しやすく、かつ火災防止を徹底した適正な処理体制の構築に向け、センタ―とその構成市町で協議を行い、

令和8年4月から有害ごみで分別収集を行うよう取り組んでいるところである。

### その他の質問項目

○地域公共交通について



## 介護

### 要介護認定審査期間短縮 に向けた取り組みは



日本維新の会川西市議員 内山 裕介

### 質問

認定審査件数の増加に伴い、要介護認定審査期間が年々延びている。国の調査では令和5年度の全保険者の中央値は39・3日となっており、介護保険法に定められた原則30日以内を超過している。そ

で、本市における認定審査期間の短縮に向けた取り組みを伺いたい。

### 答弁

現在、国は介護情報を一元化する介護情報基盤の整備を進めており、認定事務の電子化や関係者間での情報共有の迅速化などが図られ、審査期間の短縮が期待されている。また、システムの稼働は10年度とされており、最終的には審査期間30日以内を目指していきたい。

### その他の質問項目

○認知症高齢者に関する情報の連携と対応体制の課題について

## 子ども・子育て

### 保育定員の拡大に向けた 市の考えを問う



日本共産党議員団 黒田 美智

### 質問

牧の台みどりこども園では、新2号認定を受けている対象者について、一時預かり保育が定員超過により、今年度は既に5月から抽選となっている。そこで、定員拡大について市の考えを伺いたい。

### 答弁

保育士の人材確保は厳しい状況が続いており、現場では職員がシフトを工夫するなどの対応を行っているものの、現時点での定員の拡大は難しい状況である。

今年度、早い段階から抽選となっている状況については、検討課題と



認識しており、人材確保を含め、現場職員と協議を進めながら改善に向けた取り組みを継続していきたい。

## その他の質問項目

○教育としての学校給食をよりよいものにしていくことについて

## コミュニティ

### 危機的状況にある自治会への市の対応策を問う



川西まほろば会 秋田 修一

#### 質問

コミュニティを構成する自治会

会の加入率は、市全体で4割程度と低調な上、市中心部周辺では2割程度と危機的な状況となっており、実際に解散した自治会もある。こうした状況を踏まえ、市の対策や今後の方針について伺いたい。

#### 答弁

自治会については、加入率低下や担い手不足などから、活動への負担が増大し、運営が厳しい状況であると認識している。市としても、自治会運営に対する補助金による財政支援や活動場所の環境整備、運営相談のほか、転入者への自治会加入促進などの支援を行ってきたところである。

また、自治会が解散した地域ではコミュニティが自主的に対応している状況であるが、市としても支援の在り方を検討していきたい。

## スポーツ

### 総合体育館における具体的な改修内容は



連合かわにし市民の会 福西 勝



総合体育館

#### 質問

総合体育館は老朽化が進んでおり、今後、現状の機能回復や維持を目的とした大規模改修工事が予定されている。そこで、駐輪場の増設や女子トイレの洋式化、また、第1体育室の床のフローリング

への張り替えが必要であると考え、市の見解を伺いたい。

#### 答弁

現在、改修工事に向けた設計業務を進めており、設計事業者との協議の際に、駐輪場の整備や女子トイレの洋式化については検討していきたい。また、第1体育室の床の張り替えについては、全体的な経費を考慮して慎重に検討する必要があると考えている。

## その他の質問項目

○マンホールを活用した下水道事業の啓発について

ほか

## 人権推進

多様な性への理解に向けた市の取り組みと今後の課題は



公明党 大崎 淳正

#### 質問

性的指向や性自認の多様性に関する知識の普及や市民の理解を深めるための啓発に係る現状と課題を伺いたい。また、令和2年に導入したパートナーシップ宣誓制度の拡充に係る施策展開や、公的施設での性的指向等にかかわらず利用しやすい環境整備について伺いたい。

#### 答弁

性的指向・性自認の理解促進に関しては、「広報じんけん」等への記事の掲載や講演会等を行っているが、誤解や偏見が根強いと認識している。

## 防災

### 避難行動要支援者名簿作成地域団体への支援を



川西まほろば会 加藤 仁哉

#### 質問

近年、各地で災害が相次ぎ、本市も猪名川流域の河川氾濫や土砂災害のリスクを抱える中、避難行動に支援を要する市民が増加しており、避難行動要支援者名簿の作成と地域連携が重要となっている。

そこで、これらの活動に係る地域団体への支援状況を伺いたい。

#### 答弁

コミュニティ協議会や自治会、自主防災組織等の地域団体では、要支援者名簿の一斉更新や管理、災害時の安否確認、個別避難計画の管理を担っていただいている。一方、市は要支援者名簿の一斉更新に係る書類、封筒などの消耗品や配付手数料などを県および市で全額負担しているほか、避難物資については、市が避難所である小中学校までの配送を予定している。

# 議会構成が新たに決まりました

10月27日、28日の臨時市議会において、議会の構成が新たに決定しました。



議長 大矢根秀明



副議長 福西 勝

## 議会運営委員会

◎平岡 譲      ○田中 麻未      加藤 仁哉      斯波 康晴      大崎 淳正  
黒田 美智      秋田 修一      中井 成郷

議会運営の円滑な進行を図るため、議会の運営について協議することを主な目的として議会内に常設されています

### 所掌事項

- (1) 議会運営に関する事項
- (2) 議会の会議規則、委員会に関する条例などに関する事項
- (3) 議長の諮問に関する事項

## 総務生活常任委員会



◎中井 成郷



○榮 奈津子



松隈 紀文



加藤 仁哉



大崎 淳正



福西 勝



坂口 美佳



北野 紀子

### 所管（委員会が担当する市の組織）

- 市長公室…秘書および渉外、広報（広報誌「milife」など）、都市の魅力の創造および発信、参画と協働のまちづくり、人権推進、男女共同参画など
- 企画財政部…市政全般の企画と総合調整、行財政改革、ICTの推進、市の財政運営 など
- 総務部…職員の人事および給与、内部統制の推進、情報公開、契約および工事等の検査、防災、市税の賦課・徴収 など
- 市民環境部…生活相談、婚姻届や出生届等の受付、住民票の写し等の証明書発行、マイナンバーカードの交付、産業・文化・観光・スポーツの振興、生涯学習 など
- 美化衛生部…防疫、斎場、一般廃棄物の収集・処理およびリサイクル など
- 会計課…市の現金の出納・保管
- 消防本部…消防、救急、火災予防
- 行政委員会（選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会・農業委員会）
- 他の常任委員会に属しない事項

委員長＝◎ 副委員長＝○



## 厚生文教常任委員会



◎田中 麻未



○川北 将



加茂 文子



山崎 孝弘



大矢根秀明



黒田 美智



角田 楨司



秋田 修一

### 所管（委員会が担当する市の組織）

- 福祉部…各福祉政策の推進、介護保険、生活困窮者自立支援、障がい者（児）自立および社会参加の促進、生活支援 など
- こども未来部…少子化対策の総合調整、児童福祉、子どもや若者政策の推進、子育て支援 など
- 健康医療部…医療助成、国民年金、後期高齢者医療制度、国民健康保険、健康政策、病院事業 など
- 教育委員会…市立学校、幼稚園、保育所、認定こども園、中学校給食センター など

## 建設常任委員会



◎斯波 康晴



○内山 裕介



岡田龍太郎



長田 拓也



平岡 譲



西山 博大



岡 留美



吉岡 健次

### 所管（委員会が担当する市の組織）

- 都市政策部…都市計画、市街地開発、空港対策、建築・宅地開発等の指導、空き家対策、公共施設等のマネジメント、市有財産の有効活用 など
- 土木部…道路の管理や修繕、交通施策、公園の管理 など
- 上下水道局…水道、下水道

## 特別委員会

### 飛行場対策周辺整備調査

◎大崎 淳正 ○坂口 美佳  
 榮 奈津子 角田 慎司  
 福西 勝 川北 将  
 秋田 修一 吉岡 健次

大阪国際空港航空機による騒音被害  
 および安全に関する対策ならびに南部  
 地域のまちづくりに関する調査

### 市立病院改革調査

◎岡 留美 ○山崎 孝弘  
 松隈 紀文 加茂 文子  
 大矢根秀明 黒田 美智  
 内山 裕介 西山 博大

市立総合医療センターの運営および  
 阪神北圏域における医療提供体制に関  
 する調査

### 中心市街地・新名神 周辺整備調査

◎長田 拓也 ○加藤 仁哉  
 岡田龍太郎 斯波 康晴  
 平岡 讓 中井 成郷  
 田中 麻未 北野 紀子

キセラ川西を中心とする市街地およ  
 び新名神高速道路川西インターチェン  
 ジ周辺のまちづくりに関する調査

## 広報委員会

◎川北 将 ○加茂 文子 松隈 紀文 斯波 康晴 榮 奈津子  
 角田 慎司 中井 成郷 田中 麻未 北野 紀子

議会広報に関する協議等を行うために設置  
 されています

### 所掌事項

- (1) 市議会だよりの発行
- (2) 市議会ホームページによる広報
- (3) 上記のもののほか、議会広報に関すること

## 議会選出の委員・議員

### 監査委員

吉岡 健次

### 猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員

松隈 紀文 加藤 仁哉 長田 拓也 斯波 康晴 平岡 讓  
 黒田 美智 内山 裕介 中井 成郷 岡 留美



## ◆川西市議会会派一覧（令和7年10月28日現在）

会派の名称	代表者名	所属議員名
公 明 党	平岡 譲	山崎 孝弘 榮 奈津子 大崎 淳正 大矢根秀明
川 西 ま ほ ろ ば 会	秋田 修一	松隈 紀文 岡田龍太郎 加藤 仁哉 西山 博大
連 合 か わ に し 市 民 の 会	中井 成郷	福西 勝 川北 将 岡 留美
日本維新の会川西市議団	田中 麻未	内山 裕介 角田 慎司 坂口 美佳
日 本 共 産 党 議 員 団	黒田 美智	吉岡 健次 北野 紀子
市民ファーストかわにし	斯波 康晴	加茂 文子
会 派 無 所 属 議 員	—	長田 拓也

Kawanishi City council

### みんなの市議会 No.91

## 議案審議の流れ



このコーナーでは、市議会の機能や役割などを紹介するとともに、1年間にわたる議会の活動状況を不定期にお知らせしています。

市長から議会に提出される議案の審査などについて、本会議の開会から閉会に至るまでの流れを紹介したいと思います。

通常、市長から議会へ提出される議案は、本会議の第1日目（招集日）に上程され、会期中の本会議や委員会、市民の皆さんの意見や要望が反映されているか、市政が適切に運営されようとしているかなど、幅広い視点から審議されます。

#### ① 提案説明／議案熟読

まず、議案提出と同時に提案者である市長から提案説明があります。その後、議案熟読日（議員が会議までに議案を研究する）を設けて、多角的な検討を加えます。

#### ② 議案質疑

本会議において、議員が議案の内容や考え方等について、不明な点を質問します。

#### ③ 委員会付託／委員会審査

議案は、担当する各常任委員会へ分け

て付託（審査を委ねること）され、専門的かつ重点的に審査されます。

#### ④ 委員会報告

委員会の審査が終了すると、本会議で各委員長から審査の経過と結果が報告され、その報告に対する質疑も行われます。

#### ⑤ 討論

議員が、本会議において、議案に対して賛成または反対の意見を表明し、賛同者を得るよう説得を行います。

#### ⑥ 表決

議案審議の最終段階では、本会議で採決され、各議員が賛否の意思表示をします。これにより、議案に対する議会の意思が決定されることとなります。

案件によっては、即決（委員会への付託を省略し、本会議で直ちに決する）するものもありますが、おおむね、以上のような経過を経て、議案審議が行われます。

議会では、議案を可決した後も、その執行状況を調査するなど、皆さんの意見や要望が十分、市政に反映されるよう努めています。

## 受理した陳情

- 障害のある子どもを持つ保護者の緊急時対応についての窓口設置のお願い(要望書)
- 公共施設内での労働組合加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情
- 特別養護老人ホームの整備と利用支援に関する陳情
- 能勢電鉄一の鳥居駅のバリアフリー化を求める陳情
- 県道川西篠山線(西多田～清和台)の市街化調整区域における自然環境保全と環境や景観保全にふさわしくない施設ができたことへの周辺への影響調査、さらには、同様の施設が設置されないような対策を講じることにに関する陳情書
- 大型車両の増加に伴う、けやき坂地区・清和台地区・多田地区・明峰地区などの県道・旧県道付近を通学路とする小・中・高校生の登下校時の安全確保に関する陳情書
- 川西市立川西南保育所の存続及び継続運営に関する要望書

## ●●●● かわにし市議会からのお知らせ ●●●●

### 一般質問の日は午前9時30分から本会議を始めます

一般質問を予定している日は、午前9時30分開議となりますので、ご注意ください。

また、本会議のほか、議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

また、急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。くか、市議会事務局へ直接お問い合わせください。

#### 12月定例会日程

11月	26日(水)	午前10時	本会議(招集日)
	27日(木)	//	常任委員会
	28日(金)	//	本会議(議案表決)
12月	3日(水)	午前9時30分	本会議(一般質問)
	4日(木)	//	本会議( // )
	5日(金)	//	本会議( // )
	8日(月)	午前10時	常任委員会
	9日(火)	//	//
	10日(水)	//	//
	19日(金)	//	本会議(最終日)

### 会議録について

公開している全ての会議は「会議録」として記録していますので、この市議会だよりに掲載している内容の詳細をご確認いただけます。

会議録は、冊子として市議会事務局や中央図書館、市役所の市政情報コーナーに備えているほか、市議会ホームページにも掲載しています。

なお、会議録の作成には数カ月かかりますので、ご了承ください。

### ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程や会議録だけでなく、議員の政務活動費の状況なども掲載しています。

また、本会議はライブ配信(生中継)を行っているほか、現在、9月定例会・10月臨時会の様子を録画配信しています。本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。



### 広報委員会

委員長	川北 文子
副委員長	加茂 紀子
委員	松隈 紀文
	ス波 康晴
	榮津 子
	角田 柊司
	中井 成郷
	田中 麻未
	北野 紀子

市議会では、10月臨時会で議会構成に係る役員選出を行い、市議会だよりを発行している広報委員会委員も新たな顔ぶれとなりました。委員一同、ご愛読いただけたら幸いです。委員一同、ご愛読いただけたら幸いです。委員一同、ご愛読いただけたら幸いです。

今年では、9月定例会の議論や10月臨時会について掲載しています。議会の内容は難しく感じられるかもしれませんが、市民の皆さまの暮らしに直結する大切なテーマが議論されています。ぜひ関心を持って読みいただければ幸いです。

### 後編 記集

市議会だよりをお読みいただき、ありがとうございます。冬の日だまりがことのほか暖かく感じられる季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。